

お客さまから、
「私たちの金融機関」と支持され、評価される
『アワーズしんきんバンクの実現』を目指します。



理事長
佐藤 信明

平素より北海道信用金庫に格別のお引き立てを賜り、心より御礼申し上げます。

本誌は、当金庫の経営内容及び地域に根ざした営業活動、地域貢献等についてご理解を深めていただけるよう作成いたしました。本誌を通じ、当金庫の営業概況・経営姿勢をご理解いただければ幸いです。

2025年度の我が国経済は、物価高や各国の通商政策等の影響を受けつつも、雇用・所得環境の改善による個人消費や、良好な企業収益を背景とした設備投資が牽引し、緩やかな回復基調が続きました。

2026年度においても、所得環境の改善、インバウンド需要の拡大、デジタル・AIといった需要拡大分野への設備投資が景気を押し上げ、引き続き緩やかな回復が続くとの見通しもありますが、一方で、米国の通商政策や日中関係の動向、ウクライナや中東地域等の海外情勢がもたらす経済への影響が懸念されます。特に、中東情勢の緊迫化は、原油価格の高騰、ナフサ供給不足等の影響が広がり始めており、より注意を要する状況にあります。

北海道経済についても、堅調な推移が見込まれていますが、海外情勢等が地域経済に及ぼす影響が懸念されます。

先行きが不透明な環境下、地域経済が抱える課題や地域金融機関に求められる役割も多様化しておりますが、当金庫は、社会経済環境の変化を踏まえた経営の革新を進めるとともに、不変の最重要課題である「コンプライアンス態勢の強化」「顧客保護等の徹底」「リスク管理態勢の構築・強化」を進め、「四方よし」*の経営を実践し、「アワーズしんきんバンクの実現」を目指してまいります。そして、役職員一同、心をつな「ONE TEAM(ワンチーム)」となって、地域支援・課題解決に取り組んでまいりますので、変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げ、巻頭の挨拶といたします。

2026年7月

*「四方よし」…「会員・お客様よし」「地域社会よし」「金庫・役職員(家族)よし」「環境よし」